



## ふるさと納税事業について

**問** 「ふるさとさんむ応援寄附金」いわゆる、ふるさと納税の返礼品の現状について伺います。

**答** 総合政策部長 令和2年度に申し込みのあった上位の返礼品は、イチゴやお米、落花生、干物などの食品と、コーヒーストやニンジンジュース、日本酒などの飲料品。そのほか、花瓶やペットと泊まれる宿泊券などです。

なお、ポータルサイト上に掲載の返礼品は、期間限定のものもあり、取扱件数は変動します。

**問** 返礼品の開発については、地元のことを熟知している、商工会や観光協会とのネットワークを活かし、協力しながら取り組むべきと考えますが、見解を伺います。

**答** 総合政策部長 市内事業者と深く関わりのある商工会や観光協会に協力いただくことで、より効果的に

返礼品を開発・発掘できるものと考え、協力関係をより向上させながら、開発に取り組みたいと考えます。

また、返礼品の内容として、交流人口による地域活性化や観光等、波及的な効果を期待し、本市にお越しいただく体験型のものや、特産品を味わえるような返礼品を推進したいと考えています。

## 健康ポイント制度事業について

**問** 令和2年第4回定例会において、この事業について質問しましたが、その後の進捗状況を伺います。

**答** 保健福祉部長 令和2年度中の協議開始を予定していましたが、緊急事態宣言、ワクチン接種の開始等により、まだ協議ができていない状況です。しかし、事業開始に先駆けて、市内4か所のウォーキングマップとそのコースを紹介した動画を作成しました。その動画は、ワクチン接種会場の待合室でも視聴できるように、啓発活動に取り組んでいます。

**問** 今後の方向性について伺います。

**答** 保健福祉部長 健康増進計画にもあるとおり、令和4年度からの事業開始に向け、準備を進めています。初年度は、がん検診や特定健康診査を受診した方、各自が掲げる健康づくりの目標を達成した方々を対象に、ポ

イントを付与し、一定以上のポイント獲得により抽選で報奨品を贈呈する等の啓発に取り組む、事業拡大を図ります。

**問** 市民の方が全地域を見てわかり、手軽に持ち運びできるマップを作成してはどうかと考えますが、見解を伺います。

**答** 市長 先進地の事例を取り入れながら、関係各課、また、関係団体との協議等を経て、検討を進めていきます。

## 障がい児・障がい者福祉について

**問** 医療的ケア児の概要について伺います。

**答** 保健福祉部長 医学の進歩を背景として、新生児集中治療室等に長期入院した後、引き続き、たんの吸引や経管栄養、人工呼吸器などの医療的ケアが日常的に必要な児童をいいます。

**問** 本市では、医療的ケア児の保育施設通園にあたり、どのような措置を講じているのか伺います。

**答** 保健福祉部長 市内のこども園においては、たんの吸引など、医療的ケア児が在籍する園に看護師を配置し、必要な措置を行っています。

**問** 市内小中学校における、入学への受入れ要請に対する取組について伺います。

**答** 教育部長 就学前から、園や

関係課等と情報を共有・連携し、子どものニーズに合わせ、保護者との合意形成を図ったうえで、施設および設備の改修工事や支援員の配置等を行っています。

**問** 相談窓口について伺います。

**答** 保健福祉部長 はびねす(山武市子育て世代包括支援センター)において、新生児と就学前の転入児全員を対象に、保健師が面談を行っており、必要に応じて、子育て・障がい福祉・教育など、相談内容に応じた庁内の窓口を案内しています。

**問** 厚生労働省が示した基本指針に、重症心身障害児向け施設の確保が掲げられていますが、本市の状況について伺います。

**答** 保健福祉部長 医療的ケア児は、看護師が配置されている通所施設や短期入所施設などで、福祉サービスを受けることができるかとされており、市内では、令和3年4月に、障害福祉サービス事業所が開設されています。

**問** 今後の方向性について伺います。

**答** 保健福祉部長 山武圏域自立支援協議会、障害児部会など広域での連携をさらに進め、市民の皆様の協力をいただきながら、ともに地域で医療的ケア児を支え合う共生社会の構築に向けた取組や、広報・啓発活動の推進を図っていきます。